

こんな時どうする Q&A

Q1 就職活動といわれても、実際何をしたいかわからない

A1 具体的な行動に移す前には下準備が必要です。自分がどのような人間で、何が好きでどんなことに興味を持っているのか、どんな能力がありそうか、などから考えてみましょう。このような「自己分析」が就職活動の第一歩です。

Q2 業界や職種は早めに絞込んだ方がいいのでしょうか？

A2 自己分析や企業研究などがしっかりとできていないうちから業種などを絞り込んだり、「自分はこれにしか興味がない」とか、「向かない」などと決めつけるのはよくありません。まずは様々な企業の説明会に参加し、知識や視野を広げ、幅広い選択肢を持つことが大切です。

Q3 会社訪問の時に「服装は自由」と言われたらどんな格好で行くべき？

A3 「自由」という言葉をうのみにし、遊びに出かけるような服装で訪問することは厳禁です。企業の採用担当者は「常識の度合い」や「清潔感」などを見ています。スーツ以外のスタイルで人に良い印象を与えるには、どのような服装がふさわしいかを考えましょう。また、センスを問われるような職業の場合は、センスや個性もチェックされています。
※ジーンズ、半ズボンなどは厳禁です。
※男女ともに襟付きのシャツやジャケットを選んだ方が良いでしょう。

Q4 初めて訪問する会社に行く途中で、道に迷って時間に遅れてしまったら？

A4 そもそも遅刻は厳禁ですが、どうしても遅れそうな場合はできるだけ早く会社に電話をして、遅れる旨を伝えましょう。初めて会社へ行く場合はきちんと下調べをし、不測の事態に備え、時間には十分ゆとりを持って行動しましょう。

Q5 第一志望だった会社のエントリーの締め切り日を間違って、エントリーし損ねた…

A5 締切日を過ぎた場合、受け取ってくれない会社がほとんどです。どうしても入社したい会社の場合は、採用窓口に一度連絡を取って丁寧にお願いしてみましょう。僅かでも可能性があれば挑戦する価値があります。

ただし、一番大切なのは「適切なスケジュール管理」です。複数の選考を同時に進めていきますので、締切日や面接日時の管理ミスは発生しやすいトラブルです。「就活手帳」への記入や就職サイトのカレンダー機能を利用して、毎日こまめにチェックするようにしましょう。企業ごとにシートを作成し、管理するのも良い方法です。

Q6 就職活動中、孤独を感じて不安になったら・・・

A6 長い就職活動を続け、合格と不合格の一喜一憂を繰り返す日々を過ごしていると息切れして孤独感に襲われたり、不安になることもあります。そんな時は、家族や友人が大きな支えとなるかも知れません。時には、家族や友人と話すことで、気分転換できたり、壁を乗り越える道筋が見えたりします。「頑張る時」と「リフレッシュする時」のバランスをきちんと保ちましょう。

良き相談相手となる先輩のメンターや何でも話せる「親友」を持つことは、就職活動に限らず、人生においてもとても大切なことです。もちろん、キャリア・オフィスは、いつでもみなさんの味方です。気軽に足を運び、みなさんが感じる疑問や不安を解消してください。東京が活動拠点の方は、東京キャンパスもぜひ活用してください。

選考の可否は、その会社との相性の合う・合わないに過ぎません。あなた自身の素晴らしさを否定するものではありません。

Q7 内定をもらった企業から「内定承諾書」を出すように言われたが、気持ちが固まらない・・・

A7 「内定承諾書」を提出してしまったら、基本的に辞退はできません。どうしてもその時点で決められず就職活動を継続したいのであれば、その旨を正直に、誠意を持って企業の方に伝え、提出を待ってもらえるか尋ねてみましょう。その場しのぎの嘘をついてしまったら、後々に企業の方へ多大な迷惑をかけ、また自分自身も苦しい立場に追い込まれかねません。時期を逸することがないように、早めの対処が必要です。

就職活動ワンポイントアドバイス



企業が採用したくない

「こんな人」

- * 説明会などを無断欠席する人
- * 遅刻する人
- * 選考会場などで飲食をする人
- * 選考に普段着で来る人
- * 言葉遣いや態度が横柄な人
- * 「やる気」が見えない人
- * 自分を偽る人
- * 履歴書などを丁寧に書いてない、又は修正したりしている人

など



このような人と思われたいよう普段から気をつけておきましょう！！